

平成30年度 施設の自己評価



I (経営) 保育方針と目的

- 目的 心身ともに健やかに育成されるよう乳児の保育を行う
- 保育方針
- 一人ひとりの性格や成長の仕方に応じた保育をし、保護者と協力しながら心身ともに健やかな子どもの育ちを支える。
 - 人や自然と触れ合い、成長を促す為の生活リズムを整える環境を作る。
 - 思いやりのある、すなおなやさしい子。

II (取組み)

自己評価 (集計) よくできている=A 概ね出来ている=B 努力が必要=C		A	B	C
健康 (心身の発達)	園児の発達、興味に沿った保育内容であり、園児が意欲的に遊んでいる	62.5%	37.5%	
	保育士自身と一緒に体を動かしながら楽しんで保育している	50.0%	50.0%	
人間関係	園児一人ひとりの理解を深め、受容しようと努めている			
	園児の思いを大切にしながら対応している	87.5%	12.5%	
	園児が理解しやすい温かな言葉づかいで園児に聞こえる程度の声の大きさと話している	75.0%	12.5%	12.5%
	遊びや生活を通して人間関係が育つように配慮している			
	園児同士の関係を良くする様な言葉がけをしている	50.0%	50.0%	
	喧嘩の場面では状況を適切にとらえ双方の思いを聞き丁寧に対応している	62.5%	37.5%	
	年齢に応じた社会的ルールを身につけていくように配慮している	75.0%	25.0%	
園児が保育士の手伝いをしたり、友達を助けたり協力しあう場面がある	50.0%	50.0%		
保護者と連携	保護者の思いを理解する様に努め、丁寧に連携を進めている	62.5%	37.5%	
環境 (身近な関わり)	園児が快適に過ごす環境が整っている	62.5%	37.5%	
	保護者と園児に笑顔で挨拶をし、気持ちのよい受け入れをしている	62.5%	37.5%	
表現 (言語・感性他)	園児が意欲を高めるような遊びの準備や配慮ができています	62.5%	37.5%	
	見通しを持った保育をしている	62.5%	37.5%	
	自分を表現する力が十分でない園児の気持ちをくみ取るよう努力している	75.0%	12.5%	12.5%
養護	突発的な状況に対して適切な対応ができる	50.0%	37.5%	12.5%
	室内の衛生、クラス周りの清掃に心がけ気持ちの良い環境に心がけている	75.0%	25.0%	
	遊びに入れない園児や、全体の安全に気を配っている	37.5%	50.0%	12.5%

改善に向けた取り組み

- 喜びや感動、達成感を心身で感じ、自身を得られるよう遊びの工夫に努める
- 園内外の研修に意欲的に参加をし、保育者自身の資質向上を図る
- 園職員として、役割を理解し尊重と相互理解の上、責任と自信を持ち保育に努める
- 保護者に安心してもらえる様、思い、考えを尊重し、より一層の信頼関係の構築に努める

総括 (園から)

園での生活の発信方法として、個々の連絡帳や掲示板の展示等、保護者への安心感につながったと思います。これまでに保護者から評価頂いている園の雰囲気や大切にするとともに、職員の資質向上に励み喜びや感動、達成感を心身で感じて頂ける様、遊び・食育(クッキング等)・行事等の保育計画を考え、実践していきたいと思っております。